

原動機付自転車の改造登録について

原動機付自転車を改造し、排気量のアップ（ダウン）があった場合や車両種別が変更になる場合については、改造証明書(裏面)を記載の上、必要書類を添付して、登録申請をしていただく必要があります。

- ※ 現在、標識（ナンバープレート）がついている場合には、一度、標識を返納（廃車）してから、改造登録してください。
- ※ 譲渡など、車両がご自分の名義で無い場合には、以下の書類のほかに、譲渡証明書などの書類も必要になります。

改造登録に必要な書類

1. 専門業者に頼んだ場合

- 軽自動車税（種別割）申告書兼標識交付申請書
- 業者の作成した改造証明書
(記載内容は、世田谷区の「原動機付自転車改造証明書」と同程度の内容を記入してください。)

2. 自分で改造した場合

- 軽自動車税（種別割）申告書兼標識交付申請書
- 原動機付自転車改造証明書(裏面)

【重要】改造の方法により、以下の書類も必要となります。

(ア)別のエンジンに載せ替えた場合

- エンジンの購入領収書(もらった場合には、譲渡証明書)
- エンジン番号の石擦り

(イ)改造(ボアアップ)キットを取り付けた場合

- 改造キットの取扱説明書
- 改造キットの購入領収書

(ウ)エンジン内部をボーリングした場合

- 変更したピストンの購入領収書
- 排気量の計算式

(エ)そのほかの改造

- 世田谷区役所までお問合せください。

※ 改造のための部品等をインターネットで購入したため領収書がない場合には、代金の支払いを確認したWEB上の画面をプリントアウトしたもので可とします。ただし、購入した相手方の氏名及び購入した部品の商品名・規格等が記載されている場合に限りま。

3. 注意点

本来、原動機付自転車は、オートバイメーカーが、安全性・耐久性などのあらゆる面から、試験等を繰り返し、車両の生産を行っています。本来よりも大きなパワーが出るなどの改造を行うと制動力・安全性の面で、車体の性能が不足していることが考えられます。

また、区役所では、原動機付自転車の排気量等に対して、地方税法上規定されている項目に該当した標識を交付しており、改造した車両が、「道路運送車両法の保安基準等を満たしている」ということで発行しているわけではありません。

改造しても、「1人乗り」が「2人乗り」等にはなりませんので、走行にあたっては、改造前と変わらないということをご理解の上、改造などを行ってください。

なお、車両種別が変更になるような改造を行った場合には、免許区分や保安基準などが該当車両種別のものになります。必要免許の取得や整備を行っていない場合には、違反となりますので注意してください。

問合せ先 世田谷区課税課管理係

03-5432-2163

原動機付自転車改造証明書

世田谷区長あて

標 識 番 号		車 台 番 号	
車 名 ・ 形 式		型 式 認 定 番 号	

上記の原動機付自転車について、下記のとおり改造したことを証明します。

納税義務者 住 所
氏 名㊦

1. 排気量の変更を行った。

項 目	変 更 前	変 更 後
原動機の番号		
内径×行程		
総排気量		
変更事由 及び 作業内容	
使用した部品の 商品名と型番		

2. その他、車両種別の変更となる改造を行った。(具体的な作業内容を記入)

.....
.....
.....
.....

整備士免許をお持ちの方が改造作業を行った場合には、以下の部分も記入してください。

所在地			
氏名			
代表者	㊦		
電話番号			
整備士	氏 名		
	整備士番号	第	号

車台番号石ずり貼付欄

原動機番号石ずり貼付欄